

## 第2章 大分県の現状

### ○健康寿命

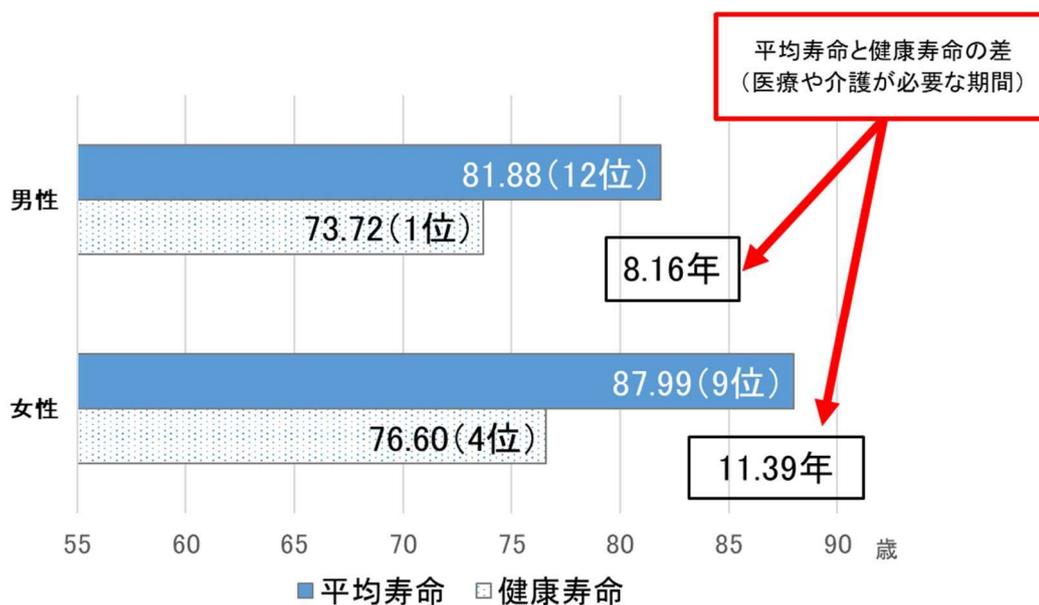
健康な状態で過ごすことのできる期間を示す「健康寿命」は、令和元年には、男性が73.72歳で全国1位、女性が76.60歳で全国4位となっています。

平均寿命と健康寿命の差は、男性では8.16年、女性では11.39年となっており、この差をできるだけ短くし、健康寿命の延伸を図ることが重要です。

健康寿命の推移

	平成22(2010)年	平成25(2013)年	平成28(2016)年	令和元(2019)年
男性	69.85歳(39位)	71.56歳(16位)	71.54歳(36位)	73.72歳(1位)
女性	73.19歳(34位)	75.01歳(10位)	75.38歳(12位)	76.60歳(4位)

平均寿命と健康寿命



平均寿命 出典：令和2年都道府県別生命表の概況

健康寿命 出典：厚生労働科学研究班資料

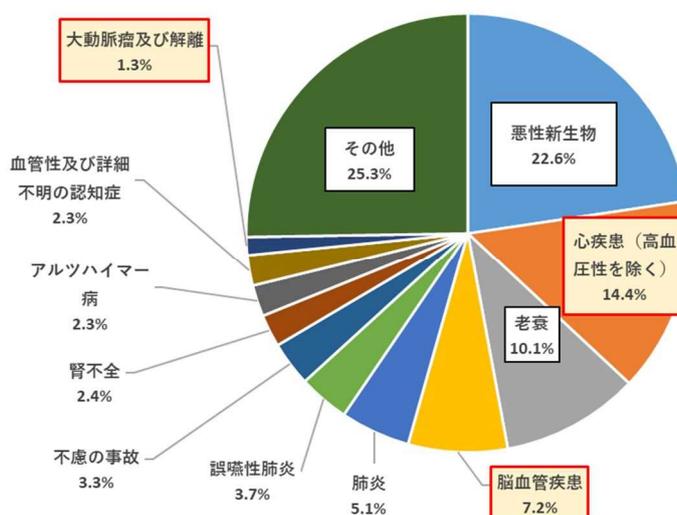
## ○主要な死亡原因

令和4年の人口動態統計によると、本県における心疾患の死亡者数は2,341人であり、死亡数全体の14.4%を占め、県民の死亡原因の第2位となっています。脳血管疾患の死亡者数は1,178人で死亡数全体の7.2%を占め、県民の死亡原因の第4位となっています。

心疾患と脳血管疾患、大動脈瘤及び解離を合わせると、循環器病による死亡者が死亡原因の約4分の1を占めています。

死因別死亡者数・死亡割合

死因	死亡数:人	
	死亡数	割合
悪性新生物	3,681	22.6%
心疾患(高血圧性を除く)	2,341	14.4%
老衰	1,641	10.1%
脳血管疾患	1,178	7.2%
肺炎	830	5.1%
誤嚥性肺炎	603	3.7%
不慮の事故	532	3.3%
腎不全	388	2.4%
アルツハイマー病	377	2.3%
血管性及び詳細不明の認知症	369	2.3%
大動脈瘤及び解離	218	1.3%
その他	4,108	25.3%
合計	16,266	100.0%



出典：令和4年人口動態統計（確定数）資料（大分県）

## ○循環器病の年齢調整死亡率<sup>2</sup>

人口動態統計特殊報告によると、令和2年の本県における脳卒中（脳血管疾患）の年齢調整死亡率（人口10万人あたり）は男性100.7（全国平均93.8）、女性59.4（全国平均56.4）と全国よりやや高くなっています。心疾患の年齢調整死亡率（人口10万人あたり）は男性182.8（全国平均190.1）、女性103.9（全国平均109.2）となっており、こちらは全国と比較するとやや低くなっています。

## ○患者数

患者数を疾病大分類別にみると、入院では「循環器系の疾患」が2.2千人/日とな

<sup>2</sup> 死亡数を人口で除した通常の死亡率を比較すると、比較する地域により年齢構成に差があるため、高齢者の多い地域では高くなり、若年者の多い地域では低くなる傾向がある。このような年齢構成の異なる地域間で死亡状況が比較できるように年齢構成を調整した死亡率を年齢調整死亡率という。

っており、「精神及び行動の障害」に次いで2番目に多い状況です。外来では「循環器系の疾患」が9.1千人/日と最も多くなっています。

疾病大分類別患者数及び受療率（入院）

患者数:千人/日、受療率:人口10万対			
	疾病大分類	入院	
		患者数	受療率
1	精神及び行動の障害	3.9	348
2	循環器系の疾患	2.2	199
3	損傷、中毒及びその他の外因の影響	2	176
4	神経系の疾患	1.9	172
5	新生物〈腫瘍〉	1.4	125
6	筋骨格系及び結合組織の疾患	1.1	97
7	呼吸器系の疾患	1	93
8	消化器系の疾患	0.8	72
9	腎尿路生殖器系の疾患	0.7	60
10	内分泌、栄養及び代謝疾患	0.4	32
11	感染症及び寄生虫症	0.2	17
12	皮膚及び皮下組織の疾患	0.2	14
13	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.1	6
14	先天奇形、変形及び染色体異常	0.1	3
15	その他	0.8	67
	計	16.8	1481

出典：厚生労働省「令和2年患者調査」

疾病大分類別患者数及び受療率（外来）

患者数:千人/日、受療率:人口10万対			
	疾病大分類	外来	
		患者数	受療率
1	循環器系の疾患	9.1	811
2	消化器系の疾患	8.4	746
3	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.1	538
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	4.2	374
5	呼吸器系の疾患	3.6	322
6	腎尿路生殖器系の疾患	3.5	313
7	皮膚及び皮下組織の疾患	3.2	285
8	損傷、中毒及びその他の外因の影響	2.6	232
9	精神及び行動の障害	1.9	166
10	眼及び附属期の疾患	1.9	168
11	新生物〈腫瘍〉	1.8	164
12	神経系の疾患	1.5	130
13	感染症及び寄生虫症	1.2	102
14	耳鼻及び乳様突起の疾患	0.5	48
15	その他	7.8	704
	計	57.3	5103

出典：厚生労働省「令和2年患者調査」